(19)日本国特新庁 (JP) (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-164981

(43)公開日 平成11年(1999)6月22日

(51) Int.Cl. ⁶		識別記号	FΙ		
D06F	25/00		D06F	25/00	Α
	58/02			58/02	F
					Q

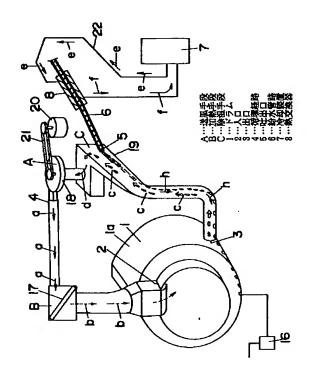
		審查請求	未請求 請求項の数2 OL (全 4 頁)		
(21)出願番号	特顧平9-334630	(71)出顧人	000000284 大阪瓦斯株式会社		
(22)出顧日	平成9年(1997)12月4日	大阪府大阪市中央区平野町四丁目1番2号 (72)発明者 和多 凛			
			大阪市中央区平野町四丁目1番2号大阪瓦 斯株式会社内		
		(74)代理人	弁理士 西川 惠清 (外1名)		

(54) 【発明の名称】 ドラム式全自動洗濯乾燥機

(57)【要約】

【課題】 夏季等でも空気を冷却して除湿性能を向上し て洗濯物の乾燥時間を短縮できるドラム式全自動洗濯乾 燥機を提供する。

【解決手段】 ドラム1に投入した衣類等の洗濯物の洗 濯、濯ぎ、脱水、乾燥を順次行うドラム式全自動洗濯乾 燥機である。これにおいて、ドラム1に乾燥用の空気の 入口2と出口3とを設けると共に上記入口2と出口3と を乾燥用の空気の循環経路4にて連通させる。この乾燥 用の空気の循環経路4に空気を送風する送風手段A、空 気を加熱する加熱手段B、及びドラム1の出口3から出 た乾燥用の空気に含まれている水蒸気を凝縮して除湿す る除湿手段Cを設ける。除湿手段Cは循環経路4に水を 吐出する吐出口5と、吐出口5に水道水を供給する給水 管路6と、この給水管路6を通る水道水を冷却する冷却 装置7とで構成する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ドラムに投入した衣類等の洗濯物の洗 濯、濯ぎ、脱水、乾燥を順次行うドラム式全自動洗濯乾 燥機において、ドラムに乾燥用の空気の入口と出口とを 設けると共に上記入口と出口とを乾燥用の空気の循環経 路にて連通させ、この乾燥用の空気の循環経路に空気を 送風する送風手段、空気を加熱する加熱手段、及びドラ ムの出口から出た乾燥用の空気に含まれている水蒸気を 凝縮して除湿する除湿手段を設け、除湿手段は循環経路 に水を吐出する吐出口と、吐出口に水道水を供給する給 水管路と、この給水管路を通る水道水を冷却する冷却装 置とで構成したことを特徴とするドラム式全自動洗濯乾 燥機。

【請求項2】 冷却装置は冷水発生装置であり、給水管 路に配置した熱交換器に冷媒としての冷水を循環供給し て給水管路を通る水道水を冷却するようにして成ること を特徴とする請求項1記載のドラム式全自動洗濯乾燥 機.

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、ドラムに投入した 衣類等の洗濯物の洗濯、濯ぎ、脱水、乾燥を順次行うド ラム式全自動洗濯乾燥機に関し、詳しくは乾燥に寄与し た空気の除湿をする乾燥用空気の除湿装置に関するもの である。

[0002]

【従来の技術】近年、ドラムに投入した衣類等の洗濯物 の洗濯、濯ぎ、脱水、乾燥を順次行うドラム式全自動洗 濯乾燥機が提供されているが、このドラム式全自動洗濯 乾燥機における乾燥構造は次のようになっている。洗濯 物を投入するドラムには乾燥用の空気の入口と出口とを 設けてあり、このドラムの入口と出口とを乾燥用の空気 の循環経路にて連通させてあり、循環経路には乾燥用の 空気を加熱する加熱手段としてのヒータや、乾燥用の空 気を送風する送風手段としてのファンを配置してある。 またドラムの出口から出た水蒸気を含んだ空気を除湿し て乾燥した空気とするために上記循環経路の途中の熱交 換部に水道水を吐出する吐出口を設けてある。そして脱 水を終えた洗濯物を乾燥するにあたっては、ファンを駆 動し、また吐出口から水道水を吐出する。すると、ヒー 夕で加熱された空気がドラムの入口からドラム内に入 り、洗濯物の乾燥に寄与した空気がドラムの出口から循 環経路に戻るように空気がドラムと循環経路との間を循 環して洗濯物が乾燥される。このときドラムの出口から 出る空気は水蒸気を含んだ空気であるが、吐出口から水 道水を吐出することでドラムの出口から出た空気を熱交 換室部で冷却し、水蒸気を凝縮させることで除湿して乾 燥した空気を得ることができ、乾燥した空気がファンや ヒータに送られる。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】ところで、上記従来例 では乾燥に寄与した空気を除湿して乾燥した空気を得る ために水道水を吐出口から吐出しているが、夏季等には 水道水の温度が高くなるので、ドラムから出た空気を冷 却する効果が低下し、除湿性能が低下して乾燥した空気 が得難くなり、洗濯物の乾燥に時間がかかるという問題 があった。

2

【0004】本発明は叙述の点に鑑みてなされたもので あって、夏季等でも空気を冷却して除湿性能を向上して 洗濯物の乾燥時間を短縮できるドラム式全自動洗濯乾燥 機を提供するにある。

[0005]

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するため 本発明のドラム式全自動洗濯乾燥機は、ドラム1に投入 した衣類等の洗濯物の洗濯、濯ぎ、脱水、乾燥を順次行 うものにおいて、ドラム1に乾燥用の空気の入口2と出 口3とを設けると共に上記入口2と出口3とを乾燥用の 空気の循環経路4にて連通させ、この乾燥用の空気の循 20 環経路4に空気を送風する送風手段A、空気を加熱する 加熱手段B、及びドラム1の出口3から出た乾燥用の空 気に含まれている水蒸気を凝縮して除湿する除湿手段C を設け、除湿手段Cは循環経路4に水を吐出する吐出口 5と、吐出口5に水道水を供給する給水管路6と、この 給水管路6を通る水道水を冷却する冷却装置7とで構成 したことを特徴とする。給水管路6を通る水道水を冷却 装置7で冷却できて吐出口5から循環経路4内に低温の 水道水を吐出させることができ、この低温の水道水にて 水蒸気を含んだ空気を冷却して凝縮させて除湿できるも 30 のであって、夏季でも低温の水道水にて効果的に除湿し て空気を乾燥でき、洗濯物の乾燥時間を短縮できる。 【0006】また冷却装置7は冷水発生装置であり、給

水管路6に配置した熱交換器8に冷媒としての冷水を循 環供給して給水管路6を通る水道水を冷却するようにし て成ることを特徴とすることも好ましい。

[0007]

【発明の実施の形態】図2はドラム式全自動洗濯乾燥機 の全体を示すものであり、ハウジング9内に洗濯槽とな るドラム1を横向きに設けてある。ドラム1は密閉構造 動すると共にヒータに通電し、必要に応じてドラムを駆 40 の外筒1aと多数の通水孔のある内筒1bとで主体が構 成されており、内筒1 bが回転駆動できるようになって いる。内筒1bの内面の適所には撹拌爪10を設けてあ る。外筒1 aの一端には衣類のような洗濯物を出し入れ する出し入れ口11を設けてあり、この出し入れ口11 はハウジング9の前面に位置させてある。この出し入れ 口11には水密的に閉塞し得る蓋を開閉自在に設けてあ る。 図2で13は給水弁、14はダンパー、15は脱水 モータ、16は排水ポンプである。そしてドラム式全自 動洗濯乾燥機の全体的な動作を説明すると次のようにな 50 っている。蓋を開いてドラム1内に衣類のような洗濯物 を投入し、蓋を閉じて駆動すると、洗濯物の洗濯、濯ぎ、脱水、乾燥が順次行われる。洗濯する場合はドラム1内に適量の水を供給し、洗剤を加え、内筒1bを回転駆動することで行われる。濯ぎする場合も、ドラム1内に水を供給し、内筒1bを回転駆動することで行われるが、このような溜め濯ぎ以外に水をシャワーリングするシャワー濯ぎも行われる。脱水する場合、内筒1bを高速で回転駆動することで行われる。乾燥する場合、ドラム1に加熱した空気を循環させることにより行われ、このとき必要に応じて内筒1bが回転駆動される。

【0008】図1は本発明の要部である乾燥装置の構造 を示すものである。ドラム1の外筒1aの上部には出し 入れ口11の近傍で空気の入口2を設けてあり、ドラム 1の外筒1bの下部の側部には空気の出口3を設けてあ り、入口2と出口3とを循環経路4にて連通させてあ る。この循環経路4には入口2個から出口3に向けて順 次加熱手段B、送風手段A、除湿手段Cを配置してあ る。加熱手段Bとしては例えばヒータ17を配置してあ る。このヒータ17は電気的に加熱するものでも、温水 で加熱するものでもよい。送風手段Aはファン18と、 ファン18を駆動するモータ20と、モータ20の動力 をファン18に伝達するベルト21にて形成されてい る。除湿手段Cは循環経路4に水を吐出する吐出口5 と、吐出口5に水道水を供給する給水管路6と、この給 水管路6を通る水道水を冷却する冷却装置7とで構成さ れている。この吐出口5は循環経路4の途中に設けた熱 交換室部19に配置してある。本例の場合、冷却装置7 は冷水発生装置であり、冷媒は冷水である。そして給水 管路6には熱交換器8を配置してあり、冷却装置7と熱 交換器8とを冷媒循環管路22にて連通させてある。し 30 かしてドラム1の内筒1b内の洗濯物の洗濯、濯ぎ、脱 水が順次行われた後、乾燥工程に入り、加熱手段Bであ るヒータ17で加熱されると共に送風手段Aのファン1 8にて送風され、また冷却装置7で給水管路6を通る水 道水が冷却される。ファン18で送風されて図1の矢印 aのように送られた空気はヒータ17にて加熱されて矢 印bのように送られ、入口2からドラム1内に加熱され た空気が供給され、ドラム1内の洗濯物に加熱した空気 が当てられ、洗濯物の乾燥に寄与して水蒸気を含んだ空 気はドラム1の出口3から出て矢印cのように送られ、 この水蒸気を含んだ空気が吐出口5から吐出する低温の 水道水で冷却されて凝縮されて除湿され、除湿されて乾 燥した空気は矢印 dのようにファン19に至り、ファン 19から再び矢印 aのようにヒータ17に送られるよう に循環する。そしてこの空気の循環により洗濯物が乾燥 される。除湿手段Cでは冷却装置7から熱交換器8に矢 印eのように冷媒としての水が送られると共に熱交換器 8から冷却装置7に矢印fのように冷媒としての水が戻

るように循環し、熱交換器8が冷却され、給水管路6を通る水道水が冷却されて吐出口5から低温の水道水が吐出される。この低温の水道水にて冷却されて凝縮した水滴は水道水と一緒に矢印hのように循環経路4を通って出口3からドラム1内に入り、排水ボンプ16にて外部に排水される。上記のように除湿されるが、冷却装置7で冷却した低温の水道水で冷却されて除湿され、夏季等でも十分に除湿され、除湿した空気は十分に乾燥され、洗濯物の乾燥の時間が従来に比べて大幅に短縮できる。

10 [0009]

【発明の効果】本発明は叙述の如くドラムに乾燥用の空 気の入口と出口とを設けると共に上記入口と出口とを乾 燥用の空気の循環経路にて連通させ、この乾燥用の空気 の循環経路に空気を送風する送風手段、空気を加熱する 加熱手段、及びドラムの出口から出た乾燥用の空気に含 まれている水蒸気を凝縮して除湿する除湿手段を設けて いるので、送風手段で送風した空気を加熱手段で加熱し て入口からドラムに入れ、ドラム内の洗濯物に加熱した 空気を当てドラムから出た水蒸気を含んだ空気を除湿手 20 段で除湿し、乾燥した空気を送風手段に送るように循環 させることができるものであって、上記の空気の循環に て洗濯物を乾燥することができるものであるのは勿論、 除湿手段は循環経路に水を吐出する吐出口と、吐出口に 水道水を供給する給水管路と、この給水管路を通る水道 水を冷却する冷却装置とで構成したので、給水管路を通 る水道水を冷却装置で冷却できて吐出口から循環経路内 に低温の水道水を吐出させることができ、この低温の水 道水にて水蒸気を含んだ空気を冷却して水蒸気を凝縮さ せて除湿できるものであって、夏季でも低温の水道水に て効果的に除湿して空気を乾燥でき、洗濯物の乾燥時間 を短縮できるものである。

【図面の簡単な説明】

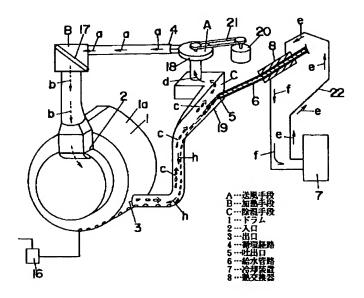
【図1】本発明の実施の形態の一例の要部を説明する説明図である。

【図2】同上の全自動洗濯乾燥機の全体を示す一部切欠 斜視図である。

【符号の説明】

- A 送風手段
- B 加熱手段
- C 除湿手段
 - 1 ドラム
 - 2 入口
 - 3 出口
 - 4 循環経路
 - 5 吐出口
 - 6 給水管路
 - 7 冷却装置
 - 8 熱交換器

【図1】



【図2】

